

秋田赤十字乳児院

広報誌 第52号

理 念

私たちは、赤十字精神のもとに、子どもたちの権利擁護と最善の利益を守り、心身ともに健やかな成長を図ることのできる愛情のこもった養育環境を提供します。

よちよち ちゃん



「きょうのごはん、なあに？」 ～愛情いっぱい、僕らはいっつもまんぷく～

季節の行事に合わせ献立や旬の食材を使った料理が提供されます。離乳食やアレルギー児への除去食等一人一人に合わせて調理されます。添加物は一切使用せずお出汁から手作りされるご飯を食べて元気いっぱい大きくなります。

毎月、19日は食育の日として、子どもたちが食材に触れたり、ちょっぴり料理に参加したりします。秋のサンマや秋田の冬の味覚ハタハタは生のままでご対面してから塩焼きで食卓へ。お野菜が苦手な子どもも自分が料理した時には驚くほど食が進みます。



にんじん皮むき
ピーラー初体験！



秋田名物ハタハタ



たくさん食べて大きくなるぞ！



豪華クリスマスメニュー



食べるって楽しいな♪

食育・クッキングでは、「見る」だけでなく「匂いをかぐ」「触れる」「聴く」「味わう」という子どもたちの五感を刺激する感覚的な体験ができます。

様々な食育を通して、食べ物や食べることに興味・関心を持てるよう、普段の食事も楽しく食べられる子どもに成長してもらいたいと、調理担当職員は思いを語ってくれました。



ひよこ組

生後2か月から1歳半までのひよこ組さん。すり這い、おすわり、つかまり立ち、歩きはじめなど、たくさんさんの成長が見られる赤ちゃんたち。

春になったらみんなでお散歩に行こうね。(齊藤)



もうじき歩き始める私と、座り始める僕

ぱんだ組

いたずら盛りのぱんだ組の子どもたち・・・お部屋にいと、スイッチをパチパチしたり、箱をひっくり返して棚に手を伸ばしたり...目が離せません。大好きな雪遊びに出るとちょっとくらい風が強くて、雪がふっても思い思いに好きな遊びをみつけて、熱中して遊びます。(田口)



雪二モ負ケズ、風二モ負ケズ



ばんび組

院庭に雪が積もり、待ちに待った雪遊び。ソリでお山から滑ったり、スコップを使って雪集めを楽しんだり、雪の上だってへっちゃんら、元気に駆け回っています。雪だるまやかまくらも作ってたくさん遊ぶぞ～！(羽根川)



滑り台の上からヤッホー！

ことい組

節分に合わせて、「鬼」の制作をしました。風船に鬼の顔を描き、子どもたちの手足をスタンプして、立体的に仕上げました。お部屋に飾られた鬼を相手に豆まきのシュミレーションは完璧だったけど...本番はレンジャーになれなかったことい組でした。(進藤)



わたしのオニは足長で美人なのよ♡

子どもたちのいのちを守ります！

夜間想定『日本赤十字社幼児安全法』訓練を開催

私たち職員は、定期的に、子どもの安全を守るため、『日本赤十字社幼児安全法』の指導員から幼児安全法のPBLS※を習っています。今回は、夜間を想定し実施しました。夜勤者が、傷病児を発見し協力者を求め119番通報をしたのち蘇生を開始する一連の手順をマニュアル化しました。

※PBLSとは、小児一次救命処置（PBLS：Pediatric Basic Life Support）のことです。



当院の幼児安全法指導員



上段が先輩指導員、下段が新人指導員です。そして、ちょっと表情が硬い…訓練の相棒ジャミーちゃん（左の人形）とアンちゃん（右の人形）です。

これからも、定期的に練習を重ね、いざという時に大切な子どもたちのいのちを守れるように努めていきたいと思えます。



当乳児院の職員が「秋田美人キャンペーン」のポスターに起用されました！

至るところに掲示されていて、見つけるたびに癒されます！

ちなみに、「て」の担当が職員です！

編集後記 ～スタッフから一言～

この度、「秋田美人キャンペーン」という大変恐れ多いタイトルのポスターに起用していただきました。緊張してなかなか表情を出せませんでした。乳児院の子どもたちのはじけるような笑顔の思い出しながらカメラに向かいました。

子どもたちが日々成長する姿に刺激を受け、ときに癒され、ときに自らを省みることもあります。子どもたちのお世話をするお仕事に就いたはずなのに、自分が支えられていることの方が多いような気がします。

いつもたくさんのパワーをありがとう。

（大島）

■編集・発行 秋田赤十字乳児院
〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町 100-3
TEL018-884-1760 FAX 018-884-1762
電話相談 018-884-1761（8:30～23:00）